

防災ステーション等の連携(案)

●防災拠点(防災ステーション等)の連携の意味とメリット

信濃川下流域では、近年大出水により大きな水害が発生しており、度重なる水害を受けた地域では、ハード・ソフト両面からの整備を積極的に展開している。今年5月31日に開催された推進協議会において“それぞれの市町村が防災拠点、普及啓発施設において、ソフト面での周知・啓発のようなものに取り組んで頂いて、各施設間を気軽に行き来できるような人と人との交流が、防災意識の向上ということをキーワードとして展開できれば”というような提案を頂いた。

三条市や見附市が新たに防災ステーション等の整備を図ることから、長岡市、燕市、新潟市の既存防災拠点施設と有機的に連携し、複数の防災ステーション等がそれぞれ役割分担し、また各自治体が行う防災教育において、他の自治体が有する防災ステーション等を活用するなど、より効果的な教育や体験が可能となる。その他、統一的な広報を実施し、全体として有意義なメッセージを発信する。これらにより、地域防災力の向上を目指す。

●連携する内容と方向

信濃川下流域における各地域の洪水被害ポテンシャル、各地域の有する洪水調節施設の能力等を理解していただくとともに水防技術等が効率的に修得できるよう、各自治体の有する施設を効果的に連携させる。

① 拠点施設の展示等の方針

・既存の施設を含め各自治体の有する拠点施設の展示内容については、できるだけ重複しないように配慮するとともに、統計期間や被災額、被災人口の比較に有する時の基準年を統一するなど、共通ルールを策定しこれに基づき実施する

・役割分担

(1) 赤渋防災ステーション(新潟市:水防センター)

○特徴:下流域の災害ポテンシャルの理解増進と必要な防災対策の修得

○具体的内容(案):H23 新潟福島豪雨災等のパネル展示(中ノ口川の現状等)

展示パネルを題材とした児童、生徒を中心としたワークショップ等の場として整備管理
防災キャンプ(避難訓練、避難生活疑似体験)

- ・避難中の健康維持のための講習会
- ・野外料理教室
- ・災害時のトイレ体験
- ・電気がないキャンドルナイト
- ・ゴミの分別方法

※他の拠点施設の案内表示

(2) 須頃防災ステーション(三条市:地域交流センター)

○特徴: 7. 13水害の状況を映像と音声によって体感させる

○具体的内容:体感施設等

シアタールーム、体感トンネル、降雨体験等

屋外(芝生公園、水防体験場、環境護岸、船着き場の設置等)

※他の拠点施設の案内表示

(3) 刈谷田川道の駅(見附市:パティオにいがた)

○特徴:遊水池整備の効果、田圃ダムの効果等治水対策の理解増進

7. 13、H23新潟福島豪雨水害の展示物、破堤地点や遊水池等の現場を活用した教育プログラムを組み込む

○具体的内容(案):道の駅の一角を水防広報スペースとして整備

7. 13、H23新潟福島豪雨水害の現地の状況、減災の効果の展示物

現地見学箇所(破堤地点、遊水地等)への案内ルートマップ掲示

※他の拠点施設の案内表示

※破堤地点や遊水地及び観光スポットを交えた自転車(自動車)周回コース(一時間コース、二時間コース等)等の整備(案)

※レンタサイクルの充実も必要

② 統一的な広報の展開

- ・下流域で共通して使用するパンフレット(マップ)の作成
- ・各施設における他の施設への案内掲示(連絡方法等)
- ・合同イベントの開催
- ・過去の歴史を知り、遺構を巡ることで地域のリスクを理解する。 → スタンプラリー等の実施

※試験的な活用(案)

見附市:道の駅「パティオにいがた」のケース

別添資料参照

- ・小中学校、地域住民を入れた各種のワークショップの開催、拠点施設ごとの対抗戦等
- ・(防災)体験として、水防活動、避難生活の体験等(三条市上須頃で建設中)

■信濃川下流域 防災ステーション等位置図

【サイン一覧】



※注 避難所：一定の期間避難生活ができる避難所とは異なり、一時的に避難することができる場所・施設
 展示/常設：見学について予約不要
 展示/特別：見学について予約が必要

【関屋分水資料館】

トイレ 展示・常設

【新光町防災船着場】

船着場

【西川排水機場】

展示・特別

【鳥屋野排水機場】

排水ポンプ車 展示・特別

【善久防災船着場】

船着場

【赤洪防災ステーション】

船着場 避難所 トイレ
水防資材 水防体験 排水ポンプ車
照明車 展示・常設

【大河津資料館 燕市さくら公園】

避難所 トイレ
水防資材 展示・常設

【上須頃防災ステーション】

船着場 避難所 トイレ 水防資材
降雨体験 排水ポンプ車 照明車 展示・常設

【道の駅 パティオにいがた】

避難所 非常食 トイレ
水防資材 展示・常設

【大谷ダム ふれあい資料館】

トイレ 展示・常設

■参加方法

- ・お手持ちのスマートフォンで、App Store(iPhone 版)、または Google Play(Android 版)から「防災スタンプラリー-見附版」のアプリをダウンロードします。
- ・アプリのダウンロード用のリンクは公式 HP に用意されています。公式 HP へは右の QR コードで GO!
- ・ダウンロードが完了すると、スタンプラリーの参加方法の説明ページが表示されますので、よく読んでください。
- ・説明を読み終えたらスタンプ枠(カメラマーク)が表示されます。このパレットの地図やヒントをもとにして、それぞれの場所を探し出そう！(番号順に回る必要はありません)
- ・ポイントに着いたら、その場所のスタンプ枠(カメラマーク)をタップします。すると GPS であなたの位置を確認し、正しければ(許容範囲内であれば)カメラが起動して「ミッケ」との記念写真が撮影できます。
- ・撮影した写真はスマートフォン内に保存され、スタンプ枠にサムネイル(撮影した写真のミニ版)が表示されます。
- ・ポイントがずれている場合には、カメラが起動しません。また、GPS 機能がうまく動作していない場合にもカメラが起動しないことがあります。
- ・9箇所全てのポイントの写真撮影が完了すると「コンプリート画面」が表示されます。この画面に、応募に必要なキーワードが隠れています。



公式ホームページ

■応募方法と受付期間

- ・アプリのトップ画面下方からスタンプラリー(見附版)公式ホームページにアクセスしてください。応募フォームを選択して、必要事項(お名前、ご住所、年齢、性別、電話番号とキーワード)を記入してご応募ください。
 - ・受付期間: **平成 25 年 8 月 23 日 ~ 平成 25 年 10 月 31 日** (最終日中の到着分まで有効)
- ※ご記入いただいた個人情報は、本スタンプラリーに関わること連絡以外の目的には使用いたしません。

■スマートフォンをお持ちでない方の参加方法と応募方法

- ・スマートフォンをお持ちでない方は、ご自身で撮影した写真をプリントして応募用紙に貼り、必要事項を記入してご応募ください。このとき、パンフレット中面の写真と同じような角度での写真を撮影してください。
- ・郵送の場合は、応募用紙に記載されているスタンプラリー事務局までお送りください。上記受け付け期間の最終日の消印まで有効です(なお、郵送料はご自身での負担となりますのでご了承ください)。
- ・また、上記期間中は「道の駅パティオにいがた」内の「防災アーカイブ」に応募ボックスを設置しますのでご利用ください。応募ボックスに投函する場合は切手等は貼る必要はありません。

- ・応募期間を過ぎてもチェックポイントに行けば「ミッケ」との記念写真撮影は可能です。9箇所全てそろえるとコンプリートすることもできますが、期間を過ぎたプレートへの応募は受け付けません。
- ・「ミッケ」は見附市観光物産協会のオリジナルキャラクターです。詳しくは新潟県公式観光情報サイト [HP <http://www.niigata-kankou.or.jp/feature/yuruchara/0502.html>] をご覧ください。
- ・お手持ちのスマートフォンの機種、バージョン、設定によっては正しく機能しない場合があることをご承知おきください。動作不良について、事務局では対応することはできません。
- ・スタンプラリーの企画・主催: 「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」
- ・事務局: 国土交通省 信濃川下流河川事務所 管理課内「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」スタンプラリー事務局 (お問合せメールアドレス: shinaga-stampラリー@hrr.mlit.go.jp)
- ★公式ホームページ www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/stampラリー/mitsuke/top.html ★

あなたの「防災力」がUPする!

スマホでスタンプラリー(見附版)

スマートフォンを利用した「新しい」スタンプラリーに参加しよう! 地域の特徴的な場所に行き、いま住んでいる見附地区に関する知識を身につけ、いつか必ず役に立つ「防災力」を身につけよう! 9箇所全てを制覇して、豪華プレゼントの抽選に応募しよう!



応募の受付期間
8月23日~10月31日

企画・主催: 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会 事務局
協力: 見附市、三条市、新潟市、新潟県、国土交通省信濃川下流河川事務所

チェックポイントのヒントと解説

- ・見附市およびその周辺にお住まいの方々にとって、非常に関係の深い場所、ゆかりの施設などを9箇所選んでいます。
- ・ハンズレット表紙の地図と、右の写真をヒントに、それぞれの場所に行ってみましょう！ ポイントに着くと、ご当地キャラ「ミツケ」との記念写真を撮ることができます！（スマートフォンでのGPS機能を使用）
- ・9箇所全てのポイントで記念写真を撮ったら、おめでとう！ コンプリート！ 豪華プレゼントの抽選に応募できます。
- ・詳しくは防災スタンプラリー見附版の公式ホームページをご覧ください

www.hrr.mlit.go.jp/shinage/stamprally/mitsuke/top.html



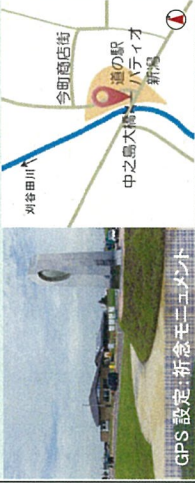
（見附市観光物産協会
オリジナルキャラクター）

ミツケ

参加にあたってのご注意

- ・自家用車等の運転中のスマホの使用や、わき見は大変危険ですのでやめましょう。
- ・一部、路肩が狭い場所もあります。車を停める際は他の通行車両や歩行者の妨げにならないよう注意しましょう。
- ・写真撮影の際など、周辺にお住まいの方々に迷惑のかけないよう注意しましょう。
- ・耕作地や、民家の庭や敷地などに勝手に入り住宅地に隣接しているポイントについては、深夜や早朝の訪問は控えますよう。
- ・その他、安全に注意しましょう。

①道の駅パティオにいがた



GPS 設定：新倉エニョウポイント

道の駅が建設されたこの場所は、平成16年7月の「新潟福島豪雨」による水害の復旧工事により、もとの川の流れをつけ替えてできた旧河道の跡です。新潟県で36駅目となる「道の駅パティオにいがた」に隣接して、「防災アーカイブ」が設けられています。

位置情報：+37° 32' 43" +138° 52' 58"

④名木野小学校



GPS 設定：避難所看板

名木野小学校は平成24年に設立141年となった、見附市内で一番古い学校です。平成16年7月の「新潟福島豪雨」では、避難所となっていた名木野小学校も浸水しました。平成24年8月には「防災キャンピング in みつけ」が実施されるなど、体験型防災教育の拠点となっています。

位置情報：+37° 30' 59" +138° 55' 39"

⑦田んぼダム



GPS 設定：片桐排水機場脇の碑

平成16年7月の「新潟福島豪雨」の水害により貝川流域で大きな浸水被害を受けたことから、水田1,200㎡で「田んぼダム」の取組が進められています。田んぼダムは、大雨を一時的に水田に貯め、時間をかけてゆっくり排水することで、下流の市街地等の洪水被害を軽減しようという取組です。

位置情報：+37° 33' 24" +138° 54' 19"

②刈谷田川ダム



GPS 設定：碑周辺

昭和36年と39年の洪水の際は、刈谷田川の堤防が決壊し沿川地域に大きな被害をもたらしました。これを期に、上流域に降った雨の量を調整して川に流すことができるよう刈谷田川ダムが計画され、昭和54年(1979)に竣工しました。平成16年7月の「新潟福島豪雨」では、下流の浸水被害軽減に貢献しました。

位置情報：+37° 26' 10" +139° 03' 10"

⑤雨水貯留管



GPS 設定：説明看板

平成16年7月の「新潟福島豪雨」を受けて、平成19年度から南本町で雨水貯留管の埋設が進められ、平成22年度に完成しました。地下7mの管は内径2.6m、長さ586m、3,100m³の雨水をため、雨がやんでから少しずつ排水することで刈谷田川が溢れるのを防ぐ効果があります。

位置情報：+37° 31' 08" +138° 55' 30"

⑧旧河岸場の町並み



GPS 設定：米善

今町は近世以降、南蒲原、古志、三島地方の米を船に積み、信濃川を経て新潟まで運搬する河港として発展しました。また、今町は醸造も盛んであり、写真の「米善」さんも明治の創業で、当時のたたくまを残しています。港町として発展したため、宿屋や料理屋がたくさん立地し、現在でも割烹料理店などが見られます。

位置情報：+37° 32' 47" +138° 53' 10"

③刈谷田川遊水地

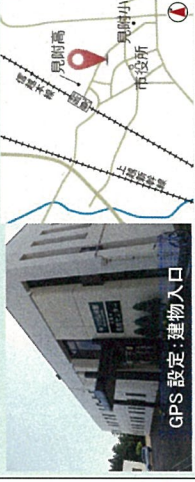


GPS 設定：遊水地の看板

平成16年7月の「新潟福島豪雨」を受けて、刈谷田川中流部の稚児清水川との合流点付近の水田一帯は、増水時の「遊水地」として整備されています。平成23年7月新潟・福島豪雨では平成16年と同規模の降雨に見舞われましたが、遊水地等の対策により、下流域では河川の氾濫による被害はありませんでした。

注：遊水地は、洪水時の河川の流水を一時的に氾濫させる土地
位置情報：+37° 31' 34" +138° 57' 12"

⑥みつけ伝承館（見附市民俗文化資料館）



GPS 設定：建物入口

「みつけ伝承館」は、かつての民俗文化資料館がリニューアルしたもので、「見附にくらす」をテーマに見附で人々が営んできた生活の様子を考古資料・民俗資料や文書を使って解説しています。

位置情報：+37° 32' 07" +138° 54' 58"

⑨大沼排水機場



GPS 設定：旧ポンプ

長岡市中之島地域の北部には赤沼湯と呼ばれる大きな潟湖が広がり、湛水常襲地帯でした。昭和2年に排水機場が完成し、排水改良により中之島地区北部は水田が広がる耕地へと変わりました。排水機場は、洪水時には中之島地域一帯を浸水の被害から守る重要な施設となっています。

位置情報：+37° 36' 46" +138° 52' 36"

防災力向上！スタンプラリー見附版 郵送用応募用紙

- ・パンフレットに掲載された現地の写真と同じような角度で写真を撮影し、この用紙にしっかり添付してください。
- ・9箇所全てのポイントで写真を撮ったら、必要事項を記入して、事務局まで郵送してください。右下のあて先ラベルを切り取ってお使いいただいても結構です。（郵送料はご自身でのご負担となります。ご了承ください）。
- ・なお、応募期間中は道の駅パティオにいがたの「防災アーカイブ」に応募ボックスを設置しますのでご利用ください（本用紙を「防災アーカイブ」の応募ボックスに投函される場合は切手等を貼る必要はありません）。

①道の駅パティオにいがた	②刈谷田川ダム	③刈谷田川遊水地
④名木野小学校	⑤雨水貯留管	⑥みつけ伝承館
⑦田んぼダム	⑧旧河岸場の町並み	⑨大沼排水機場

感想をお書きください（紙面が足りない場合は裏面をご利用ください）

おなまえ	
ご住所	
年齢・性別	(歳) (男 ・ 女)
電話番号	

郵送先（切り取ってお使い頂けます）

〒951-8153
新潟市中央区文京町14-13
国土交通省 信濃川下流河川事務所 内
水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会
スタンプラリー事務局 行